

学校法人 龍澤学館 役 員 名 簿

(令和3年6月1日現在)

理事 定員7～9名 現員8名 欠員0

区 分	氏 名
理事長	龍 澤 正 美
理 事	佐々木 博
理 事	※ 齋 藤 隆
理 事	※ 富 澤 正 一
理 事	※ 黒 沼 芳 朗
理 事	※ 阿 部 正 樹
理 事	龍 澤 尚 孝
理 事	※ 石 塚 恭 路

※印は学外者

令和 2 年度

決 算 報 告 書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

学校法人 龍澤学館

資金収支計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

学校法人 龍澤学館

単位:千円

科 目	R2年度実績
納付金収入	2, 337, 798
寄付金補助金収入	534, 713
その他の収入	2, 857, 592
資金収入調整勘定	△ 1, 108, 514
前年度繰越支払資金	3, 262, 006
収入の部 合 計	7, 883, 595
人件費・教育管理経費支出	2, 827, 512
その他の支出	1, 951, 445
資金支出調整勘定	△ 94, 761
次年度支出調整勘定	3, 199, 399
支出の部 合 計	7, 883, 595

事業活動収支計算書

自 令和 2年4月1日
至 令和 3年3月31日

学校法人 龍澤学館
単位:千円

科 目	R2年度実績
教育活動収支	
納付金収入	2,337,798
寄付金補助金収入	543,885
その他の収入	399,484
教育活動収入計	3,281,167
人件費・教育管理経費支出	3,090,181
その他の支出	4,545
教育活動支出計	3,094,726
教育活動収支差額	186,441
教育活動外収支	
教育活動外収支差額	△ 10,010
特別収支	
特別収支差額	23,716
当年度収支差額	200,147

貸借対照表

自 令和 2年4月1日
至 令和 3年3月31日

学校法人 龍澤学館
単位:千円

資 産 の 部	
科 目	R2年度
固定資産	7, 525, 217
有形固定資産	7, 165, 935
特定資産	180, 000
その他の固定資産	179, 282
流動資産	3, 622, 619
現金預金	3, 199, 399
その他の流動資産	423, 220
資産の部合計	11, 147, 836
負 債 ・ 純 資 産 の 部	
科 目	R2年度
固定負債	999, 089
流動負債	1, 822, 233
未払金	78, 385
前受金	971, 470
その他の流動負債	772, 378
負債の部合計	2, 821, 322
基本金	11, 471, 100
翌年度繰越収支差額	△ 3, 144, 586
純資産の部合計	8, 326, 514
負債及び純資産の部合計	11, 147, 836

令和 2 年度 財産目録

令和 3 年 3 月 3 1 日 現在

学校法人 龍澤学館

単位:千円

資産の部	
区 分	金 額
基本財産	
土地・建物・備品等	7, 525, 217
運用財産	
現金・預金等	3, 622, 619
資産の部合計	11, 147, 836
負債の部	
区 分	金 額
固定負債	
借入金等	999, 089
流動負債	
未払金・前受金等	1, 822, 233
負債の部合計	2, 821, 322
差引の部(資産総額－負債総額)	8, 326, 514

令和2年度 事業報告書

学校法人龍澤学館

目次

1	学校法人の沿革等	1
2	学校法人の組織図	3
3	設置する学校・学科等	4
4	学生・生徒数の状況	6
5	理事・監事・評議員の概要	8
6	教職員の概要	9
7	事業の概要	10

1 沿革等

〔名称〕 学校法人龍澤学館

〔設立〕 昭和28年9月17日 龍澤福美が、盛岡市鷹匠小路に進学研究会を創立。
昭和38年3月14日 学校法人 龍澤学館として、岩手県知事より認可を受ける。

〔建学の精神〕 独立進取 研鑽努力

〔代表者〕 理事長 龍澤 正美（平成6年9月就任）

〔教職員数〕 709名（常勤教職員 290名、非常勤教職員 419名） ※令和3年3月1日現在

〔事業内容〕 私立学校法人として10校を設置経営している。

〔設置・経営〕 法人本部 住所 盛岡市大沢川原三丁目4番1号
電話 019-622-6357 FAX 019-623-3339
ホームページアドレス <http://www.tatsuzawa.ac.jp>

盛岡中央高等学校	盛岡市みたけ（全日制課程）1学科 （通信制課程）1学科
盛岡中央高等学校附属中学校	盛岡市みたけ
幼保連携型認定こども園 月が丘幼稚園・保育園	盛岡市月が丘
盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校	盛岡市中央通 10学科
盛岡外語観光&ブライダル専門学校	盛岡市大沢川原 8学科
盛岡医療福祉スポーツ専門学校	盛岡市大沢川原 10学科
専修学校盛岡中央ゼミナール	盛岡市大沢川原 1部門
盛岡公務員法律専門学校	盛岡市中央通 4学科
盛岡ペットワールド専門学校	盛岡市駅前通 5学科
盛岡看護医療大学校	盛岡市中央通 1学科
企業主導型保育所 盛医ひまわり保育園	盛岡市大沢川原

〔関連会社・法人〕 ※ 人数はR3.3.31現在

（株）IBCソフトウェア（コンピュータソフト開発、機器販売、人材派遣	社員数63名）
（株）エムシーエス生涯学習センター（社会人教育、学習塾、教育ソフト販売	社員数47名）
（株）岩手ビッグブルズ（プロバスケットボールチームの運営、スポーツに関する情報提供サービス	社員数11名）
社会福祉法人盛岡ひまわり会・緑が丘ひまわり保育園・盛南ひまわり保育園	（職員数43名）

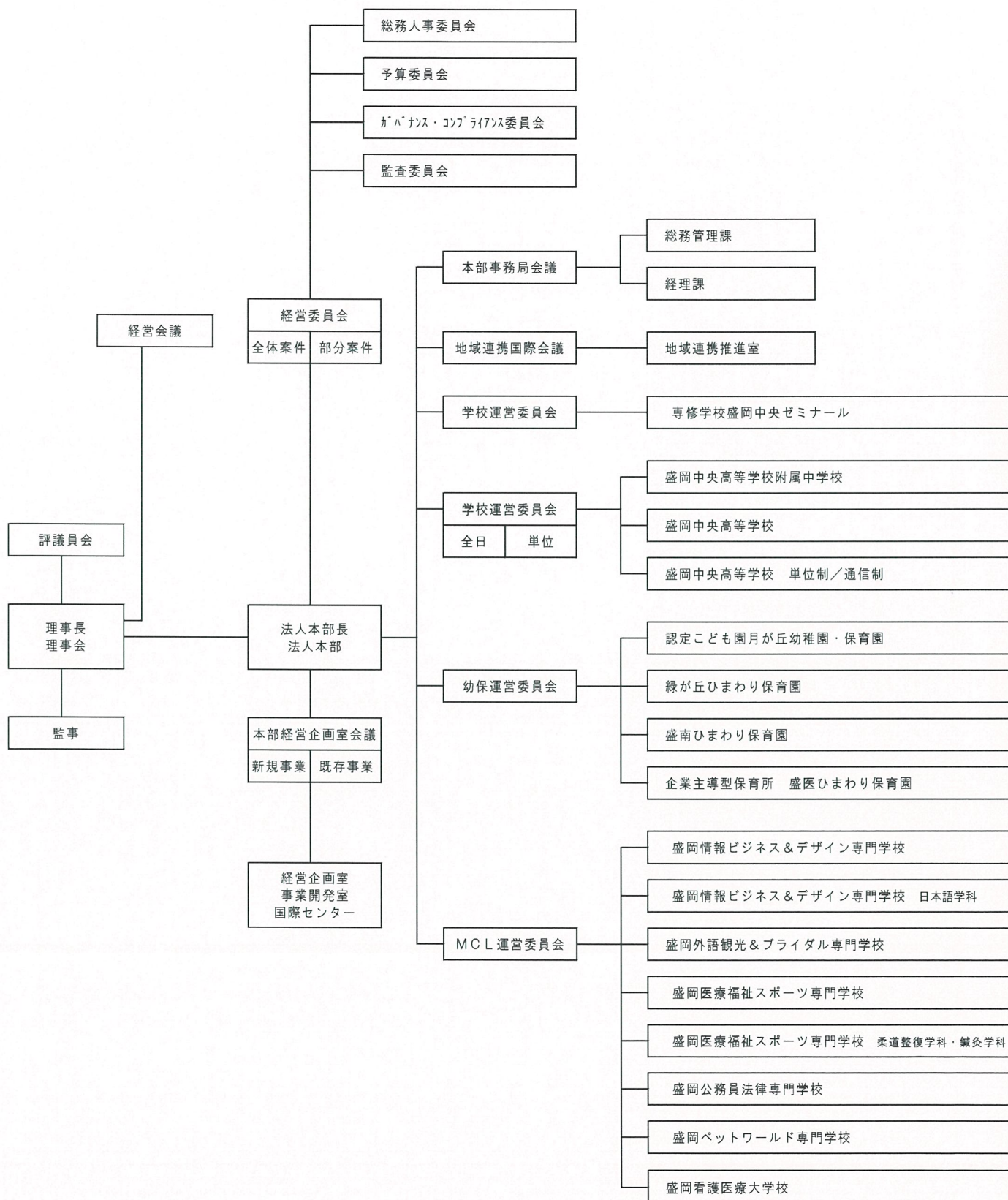
〔沿革〕

昭和28年 進学研究会（高校受験・大学受験進学塾）設立。
昭和33年 岩手県知事認可。龍澤予備校（大学受験部・高校受験部）設立。
昭和38年 龍澤高等学校（普通科）創設。
昭和53年 月が丘幼稚園設置、開園。
昭和59年 龍澤予備校創立30周年。新校舎完成移転。盛岡中央ゼミナールと校名改称。
昭和62年 盛岡情報ビジネス専門学校設置、開校。
平成2年 盛岡中央ゼミナールに河合塾サテライト講座開設。
平成4年 龍澤高等学校創立30周年。盛岡中央高等学校と校名改称。
平成8年 専門学校盛岡カレッジオブビジネス開校。
平成9年 盛岡医療福祉専門学校開校。
平成11年 （株）エムシーエス生涯学習センター設立。
平成15年 盛岡情報ビジネス専門学校 日本語学科開設。

- 平成16年 盛岡中央高等学校 単位制（通信制課程）開設。
- 平成17年 盛岡公務員法律専門学校、盛岡ペットワールド専門学校開校。
- 平成18年 盛岡医療福祉専門学校 柔道整復学科・鍼灸学科開設。
- 平成22年 緑が丘ひまわり保育園開園。
- 平成22年 (株)岩手スポーツプロモーション設立。
- 平成25年 緑が丘ひまわり保育園が社会福祉法人に移管。
- 平成27年 幼保連携型認定こども園 月が丘幼稚園・保育園開園。
- 平成28年 盛岡看護医療大学校開校。
- 平成29年 社会福祉法人盛南ひまわり保育園開園。
- 平成30年 盛岡中央高等学校附属中学校開校。
- 令和元年 企業主導型保育所 盛医ひまわり保育園開園。
- 令和2年 盛岡情報ビジネス専門学校を盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校と校名改称。
- 令和2年 専門学校盛岡カレッジオブビジネスを盛岡外語観光&ブライダル専門学校と校名改称。
- 令和2年 盛岡医療福祉専門学校を盛岡医療福祉スポーツ専門学校と校名改称。

(令和3年3月31日現在)

2 学校法人龍澤学館グループ 令和2年度組織図



3 設置する学校・学科等

盛岡中央高等学校【校長 千葉 研二】

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ四丁目2番1号 電話 019-641-0458 / FAX 019-641-5533

[全日制課程] 普通科 定員720名

[通信制課程] 狭域普通科 定員500名

盛岡中央高等学校附属中学校【校長 坂本 晋】

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ四丁目2番8号 電話 019-641-0505 / FAX 019-641-5534

定員210名

幼保連携型認定こども園 月が丘幼稚園・保育園【園長 下村 啓司】

〒020-0121 岩手県盛岡市月が丘二丁目7番5号 電話 019-645-1828 / FAX 019-645-1817

[幼稚園部] 定員 221名

[保育園部] 定員 29名

盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校【校長 工藤 昌雄】

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目2番17号 電話 019-622-1500 / FAX 019-622-1028

高度情報工学科 (4年課程 男・女) 定員 80名 (旧: ITエキスパート科)

総合システム工学科 (3年課程 男・女) 定員 60名 (旧: システム工学科)

情報システム科 (2年課程 男・女) 定員 80名

ネットワークセキュリティ科 (2年課程 男・女) 定員 40名

情報ビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 80名

会計ビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 20名

ビジネス教養科 (2年課程 男・女) 定員 20名

総合デザイン科 (3年課程 男・女) 定員 60名

デザイン科 (2年課程 男・女) 定員 180名

日本語学科進学Aコース (2年課程 男・女) 定員 60名

日本語学科進学Bコース (1.5年課程 男・女) 定員 60名

応用日本語学科 (1年課程 男・女) 定員 20名

総定員760名

盛岡外語観光&ブライダル専門学校【校長 龍澤 尚孝 (兼務)】

〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目1番18号 電話 019-651-5001 / FAX 019-651-5015

ホテルビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 50名

ブライダルビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 60名

トラベルビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 50名

ファッションショップビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 40名

総合ビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 40名

〃 (1年課程 男・女) 定員 5名

国際ビジネス科 (3年課程 男・女) 定員 30名

〃 (2年課程 男・女) 定員 20名

起業マネジメント科 (1年課程 男・女) 定員 10名

パティシエ科 (1年課程 男・女) 定員 5名

〃 (2年課程 男・女) 定員 45名

総定員355名

盛岡医療福祉スポーツ専門学校【校長 龍澤 正美（兼務）】

〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目5番18号 電話 019-624-8600 / FAX 019-624-8601

介護福祉学科	(2年課程 男・女)	定員160名
医療事務学科	(2年課程 男・女)	定員120名
こども福祉学科	(3年課程 男・女)	定員100名
こども未来学科	(2年課程 男・女)	定員100名
社会福祉学科	(3年課程 男・女)	定員100名
心理福祉学科	(4年課程 男・女)	定員135名
スポーツ健康学科	(2年課程 男・女)	定員60名
歯科衛生士学科	(3年課程 男・女)	定員50名
		小計825名

盛岡医療福祉専門学校 柔道整復学科・鍼灸学科

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目3番4号 電話 019-652-1189 / FAX 019-652-1198

柔道整復学科	(3年課程 男・女)	定員300名
鍼灸学科	(3年課程 男・女)	定員150名
		小計450名

医療福祉総定員1,275名

盛岡公務員法律専門学校【校長 佐々木 博（兼務）】

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通二丁目1番20号 電話 019-653-5061 / FAX 019-621-2202

公務員ビジネス科	(2年課程 男・女)	定員160名
〃	(3年課程 男・女)	定員30名
公務員専攻科	(1年課程 男・女)	定員40名
公務員上級学科	(1年課程 男・女)	定員20名
キャリア総合学科	(2年課程 男・女)	定員40名
		総定員290名

盛岡ペットワールド専門学校【校長 工藤 昌雄（兼務）】

〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通10番16号 電話 019-604-1151 / FAX 019-604-1156

動物看護師科	(2年課程 男・女)	定員55名
ペット美容トリマー科	(2年課程 男・女)	定員60名
ドッグトレーナー科	(2年課程 男・女)	定員30名
ペットショップビジネス科	(2年課程 男・女)	定員30名
ペットマスター科	(3年課程 男・女)	定員35名
		総定員210名

専修学校盛岡中央ゼミナール【校長 坂本 晋（兼務）】

〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目4番1号 電話 019-622-6355 / FAX 019-623-1888

大学受験科（高校卒生）	定員250名
-------------	--------

盛岡看護医療大学校【校長 齊藤 恵子】

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目3番26号 電話 019-626-5300 / FAX 019-626-5301

看護学科	(3年課程 男・女)	定員120名
------	------------	--------

企業主導型保育所 盛医ひまわり保育園【園長 菅原 信子】

〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目5番20号 電話 019-601-2166 / FAX 019-601-2167

0歳児	定員6名
1歳児	定員6名
2歳児	定員6名

（令和2年5月1日現在）

4 学生・生徒数の状況(令和2年5月1日現在)

学校名	学科名	令和2年度		
		入学定員	収容定員	現 員
盛岡中央高等学校	全日制課程 普通科	240	720	837
	通信制課程 普通科	500	500	494
	小 計	740	1,220	1,331
盛岡中央高等学校附属中学校	小 計	70	210	131
月が丘幼稚園・保育園	0歳児	-	9	5
	1歳児	-	10	10
	2歳児	-	10	10
	3歳児	-	61	51
	4歳児	-	80	44
	5歳児	-	80	51
	小 計	0	250	171
盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校	IT エキスパート科	-	20	5
	高度情報工学科	20	60	9
	総合システム工学科	20	60	55
	情報システム科	40	80	125
	ネットワークセキュリティ科	20	40	26
	情報ビジネス科	40	80	60
	会計ビジネス科	-	20	10
	ビジネス教養科	10	20	1
	総合デザイン科	20	60	19
	デザイン科	80	180	84
	日本語学科	80	140	83
	小 計	330	760	477
盛岡外語観光&ブライダル専門学校	ホテルビジネス科	20	50	28
	ブライダルビジネス科	30	60	51
	トラベルビジネス科	20	50	24
	ファッション・ショップビジネス科	10	40	13
	総合ビジネス科	15	45	20
	国際ビジネス科	20	50	43
	パティシエ科	20	50	9
	起業マネジメント科	10	10	0
	小 計	145	355	188

学校名	学科名	(人)		
		令和2年度		
		入学定員	収容定員	現 員
盛岡医療福祉スポーツ専門学校	介護福祉学科	80	160	59
	こども福祉学科	20	100	30
	こども未来学科	50	100	63
	医療事務学科	40	120	65
	社会福祉学科	20	100	52
	心理福祉学科	15	135	36
	スポーツ健康学科	20	60	25
	柔道整復学科	60	300	179
	鍼灸学科	30	150	77
	歯科衛生士学科	50	50	11
	小 計	385	1,275	597
盛岡公務員法律専門学校	公務員専攻科	40	40	29
	公務員ビジネス科	90	190	170
	公務員上級学科	20	20	4
	キャリア総合学科	20	40	8
	小 計	170	290	211
盛岡ペットワールド専門学校	動物看護師科	25	55	45
	ペット美容トリマー科	20	60	31
	ドッグトレーナー科	10	30	16
	ペットショップビジネス科	10	30	20
	ペットマスター科	15	35	20
	小 計	80	210	132
専修学校盛岡中央ゼミナール	大学受験科	250	250	126
	小 計	250	250	126
盛岡看護医療大学校	看護学科	40	120	114
	小 計	40	120	114
合 計		2,210	4,940	3,478

5 理事・監事・評議員の概要

(令和3年3月31日現在)

理事 定員7～9名 現員8名 欠員0 監事 定員2名 現員2名 欠員0

区 分	氏 名	常勤・非常勤	備 考
理事長	龍澤 正美	常勤	法人理事長
理 事	佐々木 博	非常勤	会社役員
理 事	齋 藤 隆	非常勤	元会社役員
理 事	富澤 正一	非常勤	元高等学校校長
理 事	黒沼 芳朗	非常勤	元会社顧問
理 事	阿部 正樹	非常勤	元会社役員
理 事	龍澤 尚孝	常勤	法人本部長
理 事	石塚 恭路	非常勤	会社役員
監 事	藤澤 克典	非常勤	司法書士
監 事	及川 邦雄	非常勤	行政書士

評議員 定員15～19名 現員17名 欠員0

区 分	氏 名	常勤・非常勤	備 考
評 議 員	龍澤 正美	常勤	法人理事長
評 議 員	山口 光昭	非常勤	会社社長
評 議 員	北田 義四郎	非常勤	会社会長
評 議 員	佐々木 博	非常勤	会社役員
評 議 員	黒沼 芳朗	非常勤	元会社顧問
評 議 員	齋 藤 隆	非常勤	元会社役員
評 議 員	龍澤 尚孝	常勤	法人本部長
評 議 員	富澤 正一	非常勤	前高等学校校長
評 議 員	遠藤 玲二	非常勤	会社社長
評 議 員	村上 貢一	非常勤	市議会議員
評 議 員	阿部 正樹	非常勤	元会社役員
評 議 員	龍澤 英宏	常勤	法人職員
評 議 員	高橋 秀実	非常勤	元法人職員
評 議 員	江刺家 永二	非常勤	元銀行支店長
評 議 員	小館 喜久雄	常勤	元銀行支店長
評 議 員	石塚 恭路	非常勤	会社役員
評 議 員	川上 圭一	非常勤	大学教員

6 教職員の概要（令和2年5月1日現在）

【専任教員】

(人)

	校長	副校長	教頭 副教頭	教諭	助教諭	養護教諭	講師	計
盛岡中央高等学校 全日制課程	1	1	4	31	4	1	16	58
通信制課程	(兼務)	1	1	4	0	-	6	12
盛岡中央高等学校附属中学校	1	1	1	5	0	1	8	17
合 計	2	3	6	40	4	2	30	87

	園長	副園長	主任保育教諭	保育教諭	計
月が丘幼稚園・保育園	1	1	1	16	19
企業主導型保育所 盛医ひまわり保育園	1	0	0	3	4
合 計	2	1	1	19	23

	校長	副校長	教員	講師	計
盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校	1	1	14	3	19
盛岡外語観光&ブライダル専門学校	(兼務)	0	5	5	10
盛岡医療福祉スポーツ専門学校	(兼務)	2	13	27	42
盛岡公務員法律専門学校	(兼務)	0	10	0	10
盛岡ペットワールド専門学校	(兼務)	0	3	3	6
盛岡看護医療大学校	(兼務)	-	8	0	8
専修学校盛岡中央ゼミナール	(兼務)	1	2	4	7
合 計	1	4	55	42	102

【専任職員】

(人)

	事務職員	実習助手	看護師	栄養士	調理師	運転手	計
法人本部事務局	24	-	-	-	-	-	24
盛岡中央高等学校 全日制課程	4	2	-	-	-	-	6
通信制課程	2	1	-	-	-	-	3
盛岡中央高等学校附属中学校	1	0	-	-	-	-	1
月が丘幼稚園・保育園	0	0	1	0	1	1	3
企業主導型保育所 盛医ひまわり保育園	1	-	-	-	1	-	2
盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校	6	1	-	-	-	-	7
盛岡外語観光&ブライダル専門学校	2	1	-	-	-	-	3
盛岡医療福祉スポーツ専門学校	13	1	-	-	-	-	14
盛岡公務員法律専門学校	6	-	-	-	-	-	6
盛岡ペットワールド専門学校	3	1	-	-	-	-	4
盛岡看護医療大学校	3	1	-	-	-	-	4
専修学校盛岡中央ゼミナール	3	-	-	-	-	-	3
専任職員合計	68	8	1	0	2	1	80

7 事業の概要

1 事業の概要

少子化、県外流出の進行により岩手県の人口は年間 1 万人のペースで減少しており、地域の状況は厳しさを増すばかりである。これらに起因する課題を解決し、発展に導く担い手を育成することが龍澤学館の大きな目標である。社会の変化に対応して求められる人材を送り出すため、当学館は認定こども園、中学校、高校、予備校、そして専門学校 6 校を運営してきた。また、教育活動にとどまらず、地域の担い手として持続可能な発展に積極的に寄与するため、様々な活動を行ってきた。

2 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

(1) 当学館におけるコロナ影響

令和 2 年度は、様々な面でコロナ感染拡大による影響を受けてきた。教育面においては、学外のコンテスト等の機会の減少、校外研修の制限、海外への研修旅行や、これまで 21 年にわたり継続してきた盛岡中央高校の国際教育フォーラムも当年度は断念せざるを得なかった。また、学生募集面においても、専門学校においては、高校訪問、特に県をまたぐ移動の自粛のため、青森県、秋田県など北東北各校への募集活動が従来のようにできず、さらに日本語学科では、54 名の入学予定留学生のうち、30 名しか入国できなかった。課外や地域での活動、学校行事や、企業との連携活動においてもさまざまな制限があった。

一方で、色々な活動の中で、オンライン化が進み、一部の学校ではオンライン授業を導入するとともに、入学相談会のオンライン開催や、また、職員の外部研修もオンラインがほとんどとなった。

(2) 専門学校における諸活動

MCL5 校の共通課程として、スタンダードプログラムを、当年度は全 9 回実施し、高い学生満足度を得ることができた。また、一部の学校を除き、1 コマの時間を従来の 50 分から 90 分授業に変更することで、放課後の個別学生対応や教員の調査研究の時間を確保することができ、時間の効率化・活用に効果があった。

卒業後の進路においては、一部職種の募集が少なかったものの、幅広い分野に就職が決まり、例年なみの結果となっている。当年度は地元志向の傾向が見られる。

(3) IT 環境整備

盛岡中央高校附属中学校はもとより、盛岡中央高校においても公立の学校に先行して 1 人 1 台端末に向けての配備を進めてきたが、これを当年度でも継続した。当年度からは、AI を利用した個別学習ソフトであるアタマプラスを導入し、文部科学

省のいう「個別最適な学び」を実践してきた。

(4) 文部科学省委託事業

盛岡医療福祉スポーツ専門学校では、文部科学省から受託した、「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の3年目、最終年度の活動が無事終了した。これにより蓄積した、スポーツビジネスのマネジメント人材育成についてのノウハウを生かして、今後、地域のスポーツビジネスの隆盛のため人材を供給していく。

(5) 他地域の専門学校との連携強化

四国中国地方、群馬、静岡の専門学校と1年間にわたり連携し、種々参考となる情報を交換してきた。この共同体の中で、オンライン授業のコンテンツの制作を開始したが、オンライン授業コンテンツの制作においては、多大な労力、コストと専門的なノウハウが必要であるため、これを共同で行うことにより、高い品質とコスト抑制に、大きな成果が期待される。

(6) 盛岡中央高校附属中学校

開校後3年が経過し、1～3年生が揃った完成の年度であった。ライジングプラン(Rising Plan)と命名した、高校卒業までの6年間の学びのビジョンを策定し、きめ細かな進路指導、国際理解教育、郷土を愛する心の教育、を3つの柱として、質の高い教育を実践してきた。オンラインコンテンツの開発など、公立にはない特色づくりにも力を入れている。

(7) 盛岡中央高校

留学を志望する生徒に向けたRコースを、留学は希望しなくとも、国際性を育み英語のスキルアップを目指す「国際R(Resolution)コース」に発展的に改変した。当年度においては新入生15名と一定数を集めることができた。

当年度の国公立大合格者は56名となり、昨年度に比べ40名の減となった。

(8) 岩手イノベーションベースへの参加

少子化、人口流出に加え、県内企業経営者の高齢化や後継者不足の顕在化など深刻化する情勢に対し、新たな取組として岩手県が中心となって設立した岩手イノベーションベースに参加した。この団体では、これからの10年で100人の起業家を育成することを目標とし、EO(Entrepreneur's Organization)という世界62か国にわたる若手起業家集団の育成ノウハウを取り入れて活動を行っている。当年度においては、9月に活動を開始し、月例の起業家講演と、フォーラムと称する少人数での育成プログラムを実行してきた。

独立監査人の監査報告書

令和3年6月25日

学校法人龍澤学館
理事会 御中

公認会計士 上村幸雄事務所
東京都中央区
公認会計士 上村 幸雄



監査意見

私たちは、私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査報告を行うため、昭和53年10月13日付け岩手県告示第1285号に基づき、学校法人龍澤学館の令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の計算書類、すなわち、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む。）、事業活動収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）、収益事業に係る貸借対照表及び損益計算書について監査を行った。

私たちは、上記の計算書類が、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して、学校法人龍澤学館の令和3年3月31日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、学校法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続法人の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、継続法人に関する事項を記載する必要があると判断した場合には、当該事項を記載する。

監事の責任は、学校法人の財務報告プロセスの整備及び運用における理事の業務執行の状況を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続法人を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続法人の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続法人の前提に関する注記がなされている場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、学校法人は継続法人として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類の表示及び注記事項が、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類の表示、構成及び内容、並びに計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

学校法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上